

コロナ対策に関する検討

自治医科大学地域医療学センター 小谷 和彦

研究の予定

- ・国の定める基本方針に即し、地域の実情に応じて、各都道府県で医療提供体制の確保を図るために医療計画が策定されている。
- ・今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行による、医療計画に定められるへき地医療事業計画への影響を調査することを目的とする。

調査対象：へき地医療支援機構、へき地医療拠点病院、
へき地診療所

調査方法：アンケート調査＋ヒアリング調査

へき地医療の関連指標への影響、拠点病院機能ほか

令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金（厚生労働科学特別研究事業）
「新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた、地域における医療提供体制の強化のための研究」
研究代表者：吉村健佑（千葉大学医学部附属病院 次世代医療構想センター）

ご協力をお願い

本研究班では、へき地医療拠点病院に対し、平時の医療提供体制における役割と、今回のCOVID-19対応で担った役割の比較等を中心に、アンケート調査を行います。

具体的には、へき地のCOVID-19患者の受け入れの有無や、その理由、流行後のへき地診療所への支援体制の変化等に関してアンケート調査、ヒアリング調査を行い、内容を分析します。

ご多忙の中大変に恐縮ですが、今後調査を実施する際には何卒よろしくお願い致します。